

人事行政の運営等の状況

市の人事行政の運営などの状況について公表します。

問総務人事課 ☎ 238

1 職員の給与の状況

(1) 人件費の状況 (令和3年度)

歳出額(A)	36,882,636千円
人件費(B)	4,644,380千円
人件費率(B) / (A)	12.6パーセント

※人件費には、特別職に支給される給料、報酬などを含む

(2) 職員給与費の状況 (令和3年度)

職員数(A)	給与費			
	給料	職員手当	期末勤勉手当	計(B)
531人	1,647,138千円	426,593千円	702,587千円	2,776,318千円
1人当たり給与費(B) / (A)				
5,228千円				

※職員数は、令和4年4月1日現在の人数

※職員手当には、退職手当を含まない

(3) 職員の初任給の状況 (令和4年4月1日現在)

区分	一般行政職	
	八潮市	国
大学卒	188,700円	182,200円
高校卒	160,100円	150,600円

(4) 職員手当の状況 (令和4年4月1日現在)

期末手当・勤勉手当(令和3年度支給割合)		
	期末手当	勤勉手当
6月期	1.275月分	0.95月分
12月期	1.275月分	0.95月分
計	2.55月分	1.9月分
職制上の段階、職務の級等による加算措置	あり	
退職手当(令和3年度支給割合)		
	自己都合	勸奨・定年
勤続20年	19.6695月分	24.586875月分
勤続25年	28.0395月分	33.27075月分
勤続35年	39.7575月分	47.70900月分
最高限度額	47.7090月分	47.70900月分
その他の加算措置	定年前早期退職特例措置(10年)(2~30パーセント加算)	

2 職員の任免および職員数に関する状況

(1) 職員の採用の状況

令和3年度は、一般事務13人(7人)、建築技師1人(1人)、土木技師3人(1人)、保育士2人(2人)、保健師2人(2人)、栄養士1人(1人)。

(2) 再任用の状況

令和3年度は36人(9人)。

※(1)、(2)の()内は、女性職員数

(3) 職員の退職の状況

令和3年度は、定年退職9人、勸奨退職1人、自己都合退職14人、その他7人、計31人。

(4) 部門別職員数の状況と主な増減理由

(各年4月1日現在)

		職員数		対前年増減数
		令和3年	令和4年	
一般行政部門	議会	7	7	0
	総務・企画	141	140	△1
	税務	47	46	△1
	民生	134	132	△2
	衛生	41	51	10
	労働	6	6	0
	農林水産	5	5	0
	商工	9	10	1
	土木	79	76	△3
	小計	469(20)	473(20)	4
特別行政部門	教育	54(3)	58(1)	4
公営企業等会計部門	水道	25	23	△2
	下水道	16	15	△1
	その他	41	46	5
	小計	82(4)	84(1)	2
合計	605(27)	615(22)	10	

※職員数は、退職者・派遣職員などを含み、特別職・会計年度任用職員を除く

※()内は、再任用短時間勤務職員で、それぞれの計に含まない

主な増減理由は、育休代替任期付職員の配置分。

3 職員の勤務時間その他の勤務条件の状況

(1) 勤務時間の概要

職員の勤務時間は、1週間当たり38時間45分。原則、毎週月曜日から金曜日までの、午前8時30分から午後5時15分まで。

(2) 休暇制度の概要・種類など

年次有給休暇、病気休暇など。

(3) 年次有給休暇などの取得状況

令和3年度の一般職員の年次有給休暇の平均取得日数は11.5日。

また、育児休業の取得者は45人(42人)、部分休業の取得者は16人(16人)。

※()内は女性職員数

(4) 時間外勤務の状況

令和3年度の一般職員の1月当たり平均時間外勤務時間は、約12.6時間(休日勤務を含む)。

4 職員の分限および懲戒処分

令和3年度に分限処分を受けた職員総数は39人。懲戒処分を受けた職員はなし。

5 職員のサービスの状況

(1) 職務専念義務免除の状況

令和3年度の承認件数は、研修を受ける場合が417件、厚生事業に参加する場合が645件、その他市長が定める場合が826件。

(2) 営利企業等従事の許可状況

令和3年度の許可件数1件。

6 職員の研修および人事評価の状況

(1) 研修の概要

令和3年度は、全46コースに参加し、延べ417人が修了。

(2) 職員の人事評価の概要

能力評価、業績評価を実施。

7 職員の福祉および利益の保護の状況

(1) 福利厚生制度の概要

共済制度は、埼玉県市町村職員共済組合で実施。福利厚生事業は、外部委託。その他、互助組織として「職員互助会」を組織。

(2) 公務災害の発生状況

令和3年度の発生件数は、公務災害が2件。

8 その他

令和3年度の「勤務条件に関する措置要求」および「不利益処分に関する不服申し立て」はない。

市の財務書類を作成

市の財政状況を分かりやすくお知らせするため、令和3年度の連結財務書類を作成しました。

連結財務書類は財政の効率化・適正化を推進するため、平成27年1月に総務省から示された「統一的な基準による公会計マニュアル」に基づき、企業会計の手法を用いて決算の状況をまとめたものです。

問財政課 ☎ 477

令和3年度決算の連結貸借対照表を簡略化すると次のようになります。

●資産の部

項目	内容	金額
有形・無形固定資産	庁舎、学校、道路、ソフトウェアなど	1,544億円
投資その他の資産	出資金、基金など	127億円
流動資産	現金・預金など	163億円
資産合計		1,834億円

●負債・純資産の部

項目	内容	金額
負債	地方債(借入金)など	885億円
純資産(うち当期利益)	純資産=資産-負債 (これまでの世代が負担し、支払が済んでいる正味の資産)	949億円 (35億円)
負債・純資産合計		1,834億円